

## 平成 30 年 1 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 2 業種、昨年同等が 6 業種、悪化が 6 業種となり、全体の景況感 DI 値も悪化の結果している。

一般機器、輸送機器は受注や生産面で好調を維持しているが、小売業、商店街等では、寒波により人出も少なく、売上が減少している模様である。

1 月の山口県の中小企業は、慢性的な人手不足や後継者難に悩まされている中、コストの上昇の影響もジワジワと受け、収益の確保が難しくなっている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 1 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：25.0% DI 値：▲16.2% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：17.5% 減少：28.8% DI 値：▲11.3% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：25.0% DI 値：▲13.7% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 30 年 1 月末現在）

|  |  |   |  |   |
|--|--|---|--|---|
| <br>30 以上 | <br>30 未満～<br>10 以上 | <br>10 未満～<br>▲10 以上 | <br>▲10 未満～<br>▲30 以上 | <br>▲30 未満 |
|--|--|---|--|---|

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 食料品   | 織 維<br>工 業  | 木材・<br>木製品  | 印 刷   | 窯業・<br>土石製品   | 一 般<br>機 器  | 輸 送<br>機 器  | 全 製<br>造 業  |
| ▲42.9   | 0.0   | ▲33.3   | ▲50.0   | ▲33.3   | 33.3  | 50.0  | ▲9.1  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卸売業   | 小売業   | 商店街   | サービ<br>ス 業  | 建設業   | 運輸業   | その他   | 全 非<br>製 造 業  |
| ▲20.0   | ▲44.4   | ▲75.0   | ▲9.1  | ▲10.0   | 14.3  | ▲100.0  | ▲21.3   |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|   |
|---|
| 全 体   |
| ▲16.2   |
|  |

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

|        |   |                    |
|--------|---|--------------------|
| 食料品    | 働き方改革への関心が強い。ゆめ花博への期待がある一方、入場券の取扱の負担を強いられる組合員もある。   | パン・菓子製造業<br>山陽小野田市 |
|        | 配送費の値上げが材料費に転嫁され、実質的に値上げが行われているものもある。   | パン・菓子製造業<br>下関市    |
|        | 1 / 2 8 時点で対前年同月比▲0. 2 %とほぼイーブンのペースである。昨年同様の寒波が襲来し、積雪や悪天候で客足が落ちるキビシイ時期であった。集客のある土曜・日曜日でも積雪があると売上は通常の半分程度まで下がってしまうため、早く暖かくなることを願っている。1 / 2 7（土）NHK-B S 経済フロントライン「未来人のコトバ」に10分枠で出演、コトバは道の駅/萩シーマーとの経営理念「近きものを悦び、遠きもの来る」が紹介されました。 | 水産食料品製造業<br>萩市     |
|        | 今後の世の流れが読みづらい。原材料の値上げがじわじわと影響している。また、配送料の増加も大きく、経費の増加が大きい。  | 水産食料品製造業<br>下関市    |
|        | 数年ぶりの大雪、異常な低温のため作物の生育に影響が出ており、野菜価格の上昇が社会的に影響を与えている。水道管の破裂など予期せぬ事態もあり、天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、仕組みづくりが必要になってきている。また、世界各国で排ガス規制など地球温暖化をこれ以上進めない社会作りが進んできているので、日本においても、水素ステーションの増設や燃料電池の普及など、具体的な取り組みが必要となる。           | 精穀・製粉業             |
| 繊維工業   | 学生服は、入学シーズンに向けて忙しい。   | 外衣・シャツ製造業<br>下関市   |
|        | 年末から店頭の動きが良くなり追加発注が多い。既に2月、3月納期の受注を受けているので、追加分のキャパが不足し、全体に納期が遅れぎみになって、生産に追われている。  | 外衣・シャツ製造業<br>萩市    |
| 木材・木製品 | 雪のため生産が減少している。  | 製材業・木製品製造業<br>山口市  |
|        | 1 2 月で公共工事関連の納品が大体終了したので通常ペースに戻った。  | 製材業・木製品製造業<br>下関市  |
| 印刷     | 閑散期に入り需要は減少している。人員の確保も厳しい状況で募集をかけても集まらない。   | 印刷<br>下関市          |
|        | 印刷業全般が不況。   | 印刷<br>山口市          |

|             |  |                  |
|-------------|--|------------------|
| 窯業・<br>土石製品 | <p>1月の出荷量は<br/>（平成29年1月）骨材 95%、路盤材105%、<br/>再生材113%<br/>↓<br/>（平成30年1月）骨材 66%、路盤材 88%、<br/>再生材 97%</p> <p>資材の出荷がほとんどなかった。</p>  | 砕石製造業            |
|             | <p>出荷量は、前月比101%、前年同月比114%。現時<br/>点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題<br/>は生じていない。生コン価格は安定している。</p>   | 生コンクリート製造業       |
|             | <p>新年になり、どこも動きが出てきているようであ<br/>る。後は、天候との兼ね合いで仕事をどう振り分け<br/>るか（工場での加工と現場での作業）考えなければ<br/>いけない。</p>  | 石工品製造業           |
|             | <p>1月に入り萩市内のツアーや個人の観光客は更にま<br/>ばらになり、昨年同様、閑散とした状態。平成30<br/>年は明治維新150周年ということで、様々なイベ<br/>ントが催されているが、県立美術館では萩焼展「茶<br/>陶の現代-2018萩」が8日まで開催され、萩市民館で<br/>は20日のオープニングイベントや27日の学ぼう<br/>萩・学ぼう明治維新が開催された。東京虎ノ門では<br/>新虎マーケットに萩焼を展示。福岡天神では薩摩鹿<br/>児島と長州山口食の逸品会が開催され、当組合員も<br/>参加してイベントを盛り上げている。東京浅草にあ<br/>るアンテナショップの売上げは昨年と同等で、百貨<br/>店や陶器店、ギフト関連における売上げも、昨年と<br/>変わらずといったところ。明治維新150周年とい<br/>う節目の年。様々なイベントによる経済効果を期待<br/>したい。</p> | 陶磁器・同関連<br>製品製造業 |
| 一般機器        | <p>金型を含む自動車関連・海外プラント関係・鋼構造<br/>物（鉄鋼建屋関係）ともに引き続き好調を維持して<br/>いる。3、4ヶ月はこの状態が続くと予想されるが、<br/>一層気を引き締めていかねばならない。</p>   | 一般機械器具製造業<br>防府市 |
|             | <p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車、<br/>造船関係等全ての職種の業績は好調で残業も多く、<br/>外国人技能実習生受入の増員の相談がある。職种的<br/>に受け入れが難しい業種からの相談も多い。介護の<br/>受け入れについては、複数の施設からの相談、要望<br/>があり、受け入れの体制整備に取り組んでいるが、<br/>受け入れに伴う法律条件が厳しいため進展していな<br/>い。</p> <p>なお、11月1日付で、一般（優良）組合の指定を<br/>受けたので、実習期間5年への延長、受け入れ枠の<br/>拡大による増員についても多くの企業から要望があ<br/>り、順調に移行の手続きをしている。</p>  | 一般機械器具製造業<br>宇部市 |

|      |   |                 |
|------|---|-----------------|
| 輸送機器 | 車両・精密加工・産業プラント部門とも作業量が増加。中でも精密加工部門は急激な立ち上りである。車両・精密加工部門は当分作業量の消化対策に頭を痛めると見られる。  | 鉄道車両・<br>同部品製造業 |
| 卸売業  | 海苔と芝えび類の入庫が増え、前年より売上が微増。在庫は18.3%増加。   | 乾物卸売業           |
|      | ふくは天然・養殖ともに値下がり。時化も多く鮮魚も少ない。  | 生鮮・魚介卸売業        |
|      | 昨年より、団地内で空き地を賃貸してほしいという企業があり、今年5月迄貸す予定である。組合員1社が組合脱退予定と報告を受けている。  | 各種商品卸売業<br>防府市  |
|      | 多様化した包装資材の増加に対応するため倉庫を借りた組合員企業がある。これからの売上増加に期待している。   | 各種商品卸売業<br>山口市  |
| 小売業  | 化粧品店は路面店が多いので、「今月は特に寒さによる影響を受けた」と思います。初売りは良かったという店がそこそこあった。3月は新商品などを各化粧品メーカーが発売するので、各店とも予約の活動に頑張っている。   | 化粧品小売業          |
|      | 商店街に限らず小売業界は2と8の月がヒマといわれる。半期の締めを控えた時期であり、商品、商材の季節入れ替え、また人々の暮らしリズムの切り替えが行われる時期で、歳末からの勢い景気が一段落し、宴会なども新年会を過ぎると沈静化する。総じて消費は冷え込んでしまう。米軍属人口の増加を売上に結びつけるための施策が望まれる。日本の方と変わらず歓迎する「おもてなし」は、商工会議所の「ウエルカムステッカー」でPRし啓発されるので、商売の在り方を具体的に考える必要がある。外国人の受け容れは、商業力が試されるとともに異民族の融合であり、社会環境の整備やルール化などが求められる。 | 各種商品小売業<br>岩国市  |
|      | いよいよ、新駅ビル「周南市駅前賑わい交流施設」が2月3日（土）にオープンする。商店街も祝賀ムードで力をあわせて賑わい復活を目指すつもりである。   | 各種商品小売業<br>周南市  |
|      | 年明けはイベントもなく天候も悪い日が多く、商店街へのお客さんも少ない。12月が良かった分、不安である。2月に期待。   | 各種商品小売業<br>山口市  |
|      | 先月同様、昨年と比べ商店街への来客数が減少している。高齢者の方が多い地区なので、天候が影響し、商店街内の人通りが少ない。  | 各種商品小売業<br>下関市  |
|      | 約3日間の大雪が影響し売上が大きく減少。客数、売上とも前年をかなり下回る状況下。  | 各種商品小売業<br>長門市  |

|  |   |            |
|--|---|------------|
| 商店街  | 人手不足、仕入れコストの増大、後継者難、資金調達難である。ガソリン・灯油の高騰、野菜の高騰が続く中、冬物衣料中心にバーゲンセールを実施しているが、各店舗とも粗利益率の低下を招いている。                                      | 山口市        |
|  | 高齢消費者が中心の商店街のため、冬の人出減少による苦戦が続いている。  | 宇部市        |
|  | 衣料品店は客の出入りは有るが売上の増加には繋がらないとの事。青果店は野菜の高騰により仕入が難しい様子で売上も伸び悩んでおり、野菜関係のチラシ掲載も難しい現状である。他の業種の売上も厳しい模様。                                  | 萩市         |
| サービス業  | 12月が忙しかったが、例年通りのスローなスタートをきった。中旬ころから客数が伸びると予想していたが、下旬も大寒波がやってきて前年同月比で10%程度の売上減となった。  | 美容業        |
|  | 1月に入り寒さにより売上が減少し、今後の景気状況が心配。  | 理容業        |
|  | 本年度の自動車の継続検査台数は、対前年比約7パーセント増と順調に推移してきていたが、9月以降大きく減少してきており、12月末で対前年比約1パーセント増となった。過去の大震災や補助金などの影響といわれているが、年度末に向け増加することに期待したいところである。 | 自動車整備業     |
|  | 気温が低いので燃料費の消費高が多い。  | スポーツ・健康教授業 |
|  | 1月上旬は例年並みの動きで推移した感じだが、半ば以降は極度の低温、荒天の影響から厳しい状況となっている。また燃料高騰も影響し、収益を確保するのが難しくなっている。運送業界の値上げの影響で仕入価格が上昇傾向であることから、各社値上げの動きもちらほら出ている。  | 普通洗濯業      |
|  | 1月～2月は業界の通例で売上の減少は否めない。   | 旅行業        |
|  | 宿泊者数及び売上也もほぼ昨年並みを確保。前年同月比で施設が2件ほど減少している状況の中で昨年並みを確保できたことは、良しとしたい。   | 旅館業<br>山口市 |
|  | 売上高は前年同月比で若干の増額、施設利用者も若干の増加となった。寒さの厳しい冬季気温が入浴者数の増加に影響したと思われる。雪等の影響は1月はなかった。収益は気温の影響から、加熱費等の経費負担となった。                              | 旅館業<br>長門市 |
| 雪により客足の減少。また、例年の月後半は売上が落ちるが、今年も同様であった。2月の閑散期と天候が心配されるところ。アルバイト等の慢性的な人手不足の解決が求められるが、それにともない労働 | 飲食業   |            |

|     |  |              |
|-----|--|--------------|
|     | 条件や人件費の増加が利益を圧迫すると思われる。  |              |
| 建設業 | 山口支部の中電への工事申請は51件。太陽光発電の申請3件、オール電化申請32件。LED街路灯への切替・新設の申請は15件であった。昨年12月15日締め太陽光発電売電価格適用分の駆け込み受注があったため反動が出た。   | 電気工事業        |
|     | 昨年末より工事量が回復している。今後も公共工事や工場を中心とした設備投資が好調と予測される。雇用人員は減少している。   | 左官業          |
|     | 1月13日頃からの寒波による水道管破裂等が多く、2月末納期の受注工事をほったらかしてライフライン確保のため、修理・復旧にあたっている。次の寒波の予想もあり少し心配しているところ。  | 管工事業         |
|     | 毎年12月は、年末までに屋根工事を済ませて年を越したいとの要望が多く多忙となり、1、2月は残った工事で若干多忙である。しかし、年明けの仕事の確保も大事なため、営業活動も手を抜けない状況である。   | 屋根工事業        |
|     | 1月の内装工事業は、12月の報告にもあったように、年度末の工事の進み具合が悪く、全体的に忙しいという実感がない。職人が余っているわけではないが、物件量に対比すると、まだまだ稼働していないように感じており、2月の中頃から3月終わりのギリギリまで大変な目に合うのではないかと思う。年度末完工が間に合わない公共工事を心配する中、市役所の入札物件情報の中に、3月末までの物件の入札が新たに出ているのが不思議に思う。出来ないのをわかっていて出しているのか、工期延長を前提に出しているのか、どちらにしても来期に回せるものは、4月以降に落ち着いてから施工しないと、バタバタと仕事をするのは技術の低下を招き、安全作業の面においてもプラスになることはないと思う。 | 内装工事業        |
|     | 組合員企業によると、工事量が少ない。人材が集まらず働き方改革どころではない。少ない工事量の中にあっても、技術者の不足等で受注意欲がわからない。若い経営者層においては今後の仕事に夢が持てず、自然消滅を待つだけとのこと。   | 土木工事業<br>柳井市 |
|     | 周南市の中でも、旧熊毛地域は公共工事がとても少ないので、今年は、工事が出ることを期待している。  | 土木工事業<br>周南市 |
|     | 30年1月の受注高は、対前年同月比16.3%。今年度の累計は、対前年比53.9%。  | 土木工事業<br>萩市  |

|     |  |                   |
|-----|--|-------------------|
| 運輸業 | 1月の輸送は稼働日数が少ない割に、輸送量が多く、その上長距離輸送車両不足のために目まぐるしい1ヶ月であった。近距離輸送は輸出物資が多く、前年同月比で約0.4%の売上増。しかし、輸送運賃は据え置きでは"働き方改革"には程遠い業界で、毎度のことながら軽油引取税の何%でも引下げにならないかと願っている現状。油関係は1.1円の値上げ。   | 一般貨物自動車運送業<br>下松市 |
|     | 今月の輸送受注は、前年同月比4.4%程度のプラスとなり5ヶ月連続の増加となった。燃料費も7ヶ月連続して上昇しており前年同月比約11%程度上昇している。乗務員不足については相変わらず頭を痛めており、特にリフト作業等の付帯作業を伴う輸送については一層困難な状況となっている。  | 一般貨物自動車運送業<br>防府市 |
|     | 売上、収益を牽引していた長距離輸送が低調だったため、全体としても低調となった。路面凍結等による交通の乱れもあり、情報共有の為の連絡が飛び交っていた。   | 一般貨物自動車運送業<br>宇部市 |
|     | 売上は前年同月比で3%の減少。タクシーの台数が減っているので配車に苦労している。   | 一般旅客自動車運送業<br>下関市 |
|     | タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲2.6%（平成29年12月1日～平成30年1月20日分）。12月1日～31日分は+2.3%、1月1日～20日分は▲13.9%で1月になって再び大幅減少となった。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。12月分については、周南▲0.3%，下松+8.3%，光+6.0%，防府市地区が▲4.8%で、組合員の全域では+0.4%、地区外（員外）+26.5%で合計+2.3%。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが少し下がり（前月575.0\$/トンが今月570.0\$/トン、前年457.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も前月376.0\$/トンが今月371.0\$/トン、前年328.0\$/トン）少し下がったが、為替は円安（前月113.96円/\$が114.02円/\$）になり、共に少額のため、前月と同額となった。前年1月分に比べると+11.8%となっている。タクシー乗務員は慢性的に不足し稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況もある模様である。12月の繁忙期は好調だったが、1月になって急激に需要が減少している。前年が比較的好調だった事や、天候、曜日などの原因もあると思うが、何とか踏み止まってほしいものだと思う。 | 一般旅客自動車運送業<br>周南市 |
|     | 今月も、対前年比若干の取扱高の伸びがあった。   | 港湾運送業             |

|             |   |      |
|-------------|---|------|
| その他<br>非製造業 | いよいよ、技能実習生（介護職）が本格始動致したので、山口県で先駆け、業界の向上に貢献したいと思う。 | 介護事業 |
|-------------|---|------|